

小山市長 令和5年10月 定例記者会見

日時：令和5年10月16日（月）

14：30～

会場：6階 大会議室

1 開会

2 市長あいさつ

3 市長発表内容

- (1) 田園環境都市おやまビジョン 市民アンケートの実施について
- (2) 中央環境審議会自然環境部会 自然再興の実現に向けた民間等の活動促進に関する小委員会への参画について
- (3) 令和6年度予算編成方針について

4 部長発表内容

- (1) 第37回健康都市おやまフェスティバルの開催について
- (2) 小山市立博物館開館40周年記念
第79回企画展「MEMORY MUSEUM—その記憶、どう残す?—」
の開催について
- (3) 第58回企画展アートリンクとちぎ2023 栃木県立美術館収蔵品展
「生誕130年古川龍生木版画展—人物モチーフと街景・海浜風景」について
- (4) おやま春（スプリング）マラソン2024の開催について
- (5) 第8回中央図書館まつりの開催について
- (6) 小山市消防フェア2023の開催について

5 副市長から取材依頼

6 質疑応答

7 閉会

記者会見資料

総合政策部 田園環境都市推進課

(担当 望月 22-9378)

1 件名

田園環境都市おやまビジョン 市民アンケートの実施について

2 趣旨

小山市は、2024年に市制70周年を迎えますが、田園環境と都市環境の調和のとれた「田園環境都市おやま」を、将来にわたり持続可能なゆとりと潤いのあるまちとして発展させ、全ての市民が快適に暮らし、住みやすい、住み続けたいと感じられるウェルビーイングが実現できるまちづくりを進めています。2022年から3か年をかけて、そのための指針となる市制100周年を迎える30年後の2054年の本市のあるべき姿を描き、市民・行政・企業等、本市に関わる全ての人が共有できる「田園環境都市おやまビジョン」を、市民の皆様と学び合い対話を重ねながら策定しております。

この度、同ビジョン策定のための基礎資料の一つとして、「30年後の本市のあるべき姿」と、そのために解消すべき様々な課題や必要な取組について、市民の皆様のご意見を伺うため市民アンケートを実施いたします。頂いたご意見等をもとに、市民の皆様の意識や希望等を把握し、市民生活をより良くするためには何が必要か、市民主体のビジョンとなるよう検討してまいります。

※ウェルビーイングとは、個人の権利と自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること

3 内容

(1) 調査概要

- ① 対象
 - ・小山市に在住または通勤・通学をしている方
 - ・小山市に興味・関心がある方
- ② 調査方法 Web アンケート
大項目と分野別にわけて調査
大項目：すべての市民のウェルビーイングを実現するための土台となる項目の調査
分野別：自然環境・まちづくり・商工業など分野ごとの30年後の小山市についての意識調査
- ③ 調査期間 大項目：令和5年10月中旬～令和6年1月31日
分野別：令和5年11月1日～令和6年1月31日

(2) アンケートページ



(小山市公式ホームページからアクセス)

記者会見資料

総合政策部 自然共生課
(担当 平林 22-9354)

1 件名

中央環境審議会自然環境部会 自然再興の実現に向けた民間等の活動促進に関する小委員会への参画について

2 趣旨

小山市では、10月1日に「ゼロカーボンシティ&ネイチャーポジティブ宣言」を行い、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル及び2030年までに生物多様性の損失を食い止め、反転させ、回復軌道に乗せるネイチャーポジティブ（自然再興）の実現に向けて各種取組を推進しております。

この度、ネイチャーポジティブの実現に向けて、環境省が民間等の活動促進に必要な措置の審議等を行うために設置する、中央環境審議会自然環境部会の専門委員として、浅野正富市長が環境大臣から任命されました。

当審議会において、小山市のみならず地方自治体が抱える現状を説明し、国の政策に反映させるとともに、本市においても自然と人の暮らし、経済が調和した豊かな環境を次世代に継承するための取組を加速させてまいります。

3 経緯と今後の予定

- | | |
|-----------|---|
| 8月 | 環境省から中央環境審議会に諮問 |
| 8月24日(木) | 中央環境審議会 自然環境部会 開催
小委員会の設置決定 |
| 10月12日(木) | 環境大臣による専門委員の任命 |
| 10月13日(金) | 中央環境審議会 自然環境部会
第1回自然再興の実現に向けた民間等の活動促進に関する小委員会の開催
(以降、11月、令和6年1月に開催予定) |

<中央環境審議会とは・・・>

環境基本法第41条の規定に基づき、環境の保全に関する基本的事項や重要な事項について所要の調査審議を行う、環境大臣の諮問機関として設置される機関。9つの部会、部会ごとに設置される小委員会・専門委員会がある。

記者会見資料

理財部 財政課

(担当 片柳 22-9331)

1 件名

令和6年度予算編成方針について

2 概要

令和6年度における本市の予算編成は、コロナ禍による景気の落ち込みから回復傾向にあるものの、エネルギー価格や物価高騰の影響が懸念されることから、市税等一般財源の増加に不透明な状況がある一方、国の少子化傾向の反転に向けた子ども・子育て政策の抜本強化や、高齢化の進展等に伴う社会保障関連経費の増加、豊穂川流域等排水強化対策や栗宮新都心第一土地区画整理事業等の大型普通建設事業の実施の他、2050年のカーボンニュートラル実現や、老朽化が進む公共施設の長寿命化・緊急修繕への適切な対応等に取り組む必要があり、増大する行政需要に対し歳入不足が見込まれる中で実施していくものと想定されます。

このようなことから、市制70周年の節目となる令和6年度予算においても、本市の財政力に相応しい健全で持続可能な財政運営を進めていくため、効率的・効果的な運営に努めるとともに、第8次小山市総合計画に掲げる「市民との対話と連携・協働による『田園環境都市 小山』を未来につなぐ持続可能なまちづくり」の着実な進展を図るため、別添のとおり「令和6年度予算編成方針」を策定したことから、公表するものです。

3 内容

別添「令和6年度予算編成方針」のとおり

令和6年度予算編成方針

1. 経済状況と国の動向

9月26日に発表された「月例経済報告（令和5年9月）」によれば、「景気は、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。」との判断がある一方で、「世界的な金融引締め等を背景とした海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」と指摘し、今後の景気に対するリスクについて、警戒感も示されている。

また、政府は、6月16日に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2023」において、日本経済はコロナ禍から経済社会活動の正常化が進み、緩やかに回復しており、令和6年度予算編成にあたっては、本格的な経済回復、新たな経済成長の軌道に乗せていくため、構造的賃上げの実現や、官民連携による投資の拡大、少子化対策・こども政策の抜本強化を含めた、新しい資本主義の加速等、重要政策課題に必要な予算措置を講ずるとしている。

本市においても、このような国の動向を踏まえ、景気回復の傾向を維持し、市民の安全・安心な暮らしを基本として、将来を見据えた本市の持続的な成長につながる施策について、予算に反映させていく必要がある。

2. 本市の財政状況と今後の収支見通し

(1) 本市の財政状況

本市の財政状況は、令和4年度決算において、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」は、普通交付税と臨時財政対策債が減少したことにより、前年度の84.7%から4.3ポイント減の89.0%となった。一方で、歳入の根幹である市税収入は過去最高額となり、地方公共団体の財政力を示す「財政力指数」は、指標となる3カ年平均では、0.95と0.02ポイント下がったものの、単年度の数値では回復の兆しが見える。また、大規模災害の発生等、不測の事態に備えるための財政調整基金については、令和4年度末残高が30億5千万円となり、令和5年度末には目標としていた標準財政規模の10%を達成する見込みである。市債等将来返済しなければならない負債の、標準財政規模に占める割合である将来負担比率についても、前年度より6.6ポイント改善し、78.7%となった。

なお、令和5年度は、大谷地区中心施設の竣工等が予定されているものの、「テクノパーク小山南部造成事業」において、事業完了に伴い、残債を繰上償還したことから、令和4年度末より市債残高は一時的に減少する見込みである。しかしながら、小山広域保健衛生組合の「第2期エネルギー回収推進施設工事」が本格化することにより、構成自治体の中で負担割合の高い小山市の将来負担比率は、令和6年度以降、一時的に悪化するものと見込んでいる。

(2) 今後の収支見通し

令和 6 年度歳入のうち市税収入については、コロナ禍による景気の落ち込みから回復傾向にあるものの、エネルギー価格や物価高騰の影響が懸念されることから、令和 5 年度当初予算と同程度の 290 億円台になるものと見込んでいる。ただし、今後も、不安定な世界情勢等から、景気への影響は不透明な状況であり、その金額を下回るリスクをはらんでいる。

また、地方消費税交付金は、景気の動向等を踏まえると緩やかな増加傾向にあるものの、地方交付税及びその他の国からの交付金については、景気動向や市税収入等と連動することから、増減はあるものの、全体としては大幅な変動は少ないと見込まれる。

一方、歳出については、国の少子化傾向の反転に向けたこども・子育て政策の抜本強化や、高齢化の進展等に伴い、特別会計への繰出金を含めた社会保障関連経費が引き続き増加するとともに、豊穂川流域等排水強化対策や栗宮新都心第一土地区画整理事業、城山町三丁目第二地区市街地再開発事業等の普通建設事業、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けた対応、老朽化が進む公共施設の長寿命化や緊急修繕への適切な対応等、歳出全般に渡り経費の増加が見込まれている。

このため、令和 6 年度においても、歳出が歳入を上回ると見込まれる中での予算編成となることから、**本市の財政力に相応しい健全で持続可能な財政運営**を進めていくためにも、既存事業の見直し・再構築を含め、効率的・効果的な運営に努めなければならない。

3. 基本方針

持続可能な本市財政の実現に向けて、第 8 次小山市総合計画を着実に推進するとともに、全職員が、従来の縦割り意識から脱却し、部局を横断して情報の共有に努め、全体を最適化する観点から事務事業の現状を見直していくことが重要である。

小山市市制 70 周年の節目となる令和 6 年度予算編成を進めるにあたっては、次に示す「重点項目」を踏まえ、各部局で議論し、出来得る限り予算要求に反映するものとする。

《重点項目》

(1) 市民が主人公の市政運営の推進

令和 5 年度も市民参加型のまちづくりの取組として、市民と市長が意見交換を行う市民フォーラムを、「2054 年の小山市を語ろう」をテーマに実施したところである。市民フォーラムで提起された意見はもとより、あらゆる機会で見られた市民の意見については、施策・事業への反映について検討すること。

(2) 「田園環境都市おやま」の構築に向けた取組

30 年後の「田園環境都市おやま」の未来像を描く「田園環境都市おやまビジョン」は、市域全体で総合的に持続可能なまちづくりを考えていくために、田園部と都市部や、市民の暮らしの価値観と行政の計画、縦割りで策定・実施していた個別の計画・事業等、さまざまな「関係性」を結び直す役割を担うものとして、令和 4 年度から 3 カ年をかけて検討を進めている。事業の組み立てにあたっては、同ビジョンの実現に向けた内容とすること。

(3) エネルギー価格や物価高騰等の影響への対応

新型コロナウイルス感染症の 5 類移行により、経済活動の制限はほぼ無くなり、景気も緩やかな回復傾向を示しているが、ロシアによるウクライナ侵攻は、いまだ終戦の見通しが立たず、今後も、エネルギー価格や物価高騰の状況は不透明なままである。このような状況に柔軟に対応するため、国や物価・経済の動向を見極めながら、効果的な取組について検討を進めること。

(4) 公共施設等の整備及び維持修繕の計画的な実施

公共施設等の整備にあたっては、今後の需要及び投資効果等を検証するとともに、本市の将来負担の現状や維持管理費等の後年度の財政負担も考慮したうえで、計画的に進めること。また、既存施設の維持補修については、「公共施設等総合管理計画」等に基づき、必要な点検及び改修を実施するとともに、施設の存続の必要性等を含む今後のあり方について、社会経済情勢の変化等を踏まえた検討を行うこと。

(5) 「ゼロカーボンシティ」「ネイチャーポジティブ」実現に向けた取組

10 月 1 日に宣言した、2050 年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」と、2030 年までに今の自然の損失をポジティブに変換させ、2050 年までに自然と共生する社会を目指す「ネイチャーポジティブ」の実現に向けて、脱炭素移行や、小山市の豊かな環境を次世代に継承するための取組について検討すること。

(6) 少子化対策の抜本強化

国全体の課題である、急速な少子化・人口減少に歯止めをかけるため、国のことも・子育て政策の抜本強化に呼応するとともに、「出会い」から「結婚」、「妊娠」「出産」「子育て」まで切れ目のない継続的な支援のため、保育所や学童保育等、保育施設の十分な確保のほか、ハード・ソフト両面での、安全・安心な子育てしやすい環境づくりについて検討すること。

4. 予算編成における留意事項

3. 基本方針に掲げる重点項目に取り組むとともに、次の点に留意し、予算編成に取り組むものとする。

(1) 基本的事項

①歳入に見合った予算編成と的確な年間予算額の算定

「歳入あつての歳出」であることに留意すること。

また、歳入・歳出とも、データ等根拠に基づき的確に把握し、過大過少とならないよう十分精査し、年間予算を算定すること。特に例年、多額の不用額が発生している事業にあつては、事業自体のあり方を見直す等、精査を徹底すること。

②全ての事業の見直し

全ての事業について、例外を設けずゼロベースで見直すこと。事業の意義が現状と合致しているか、効果が希薄であるにも関わらず慣例的に継続している事業はないか、他の所属と似たような事業を実施していないか等、十分検討すること。

③各部要求上限額の設定

優先課題や過去の執行率等に基づき、各部の要求上限額を設定する。各部においては、事務要領を遵守し、要求上限額の範囲内に収めて予算要求するよう、部内で十分に検討すること。

(2) 歳入に関する事項

①収納率の向上及び受益者負担の公平性の確保

市税収入については、納税環境の充実を図るとともに、公平・適正な賦課のもと、収入未済額の圧縮に努め、収納率向上に積極的に取り組むこと。

また、税外収入についても、受益者負担の公平性の観点から、債権の適正な管理を行い、収入未済額を解消し、不納欠損を生じさせないこと。

②補助制度の活用

国・県のみならず関係団体の補助制度の動向を十分注視し、活用可能な制度については積極的に予算に反映すること。

ただし、補助制度の活用により、結果として後年度の財政負担を伴うものについては慎重に対応すること。また、補助事業終了に伴う市単独事業への切り換えは、事業の意義について改めて検討を行うこと。

③あらゆる手法を活用した財源の確保

民間とタイアップ可能な事業については、寄付や協賛等の協力を得るとともに、企業版ふるさと納税を始めとするあらゆる手法を活用し、財源の確保を図ること。

(3) 歳出に関する事項

①新規事業の設定及び既存事業の拡充

新規事業の設定及び既存事業の拡充を図る場合は、事業の必要性及び有効性等について、客観的なデータ等を活用し検証を行い、費用対効果を明らかにするとともに、後年度の財政負担についても説明すること。特に新規事業の場合は既存事業の見直し（スクラップ・アンド・ビルド）を原則とすること。

②事業の優先度の設定

市民の安全・安心な暮らしを守るため、事業の明確な目標を定めるとともに、事業継続の可否や再構築の可能性も含め、その効果・有用性について必ず検証を行い、緊急性や安全性の観点から事業の優先度や進捗調整を適切に設定した上で、真に必要な事業に財源を集中すること。

③社会保障関連経費の抑制

歳出の約 3 割を占める特別会計への繰入金を含めた社会保障関連経費については、制度改正の動向や他市の状況等を踏まえ、所要額を適正に見積もるとともに、特に市単独事業については、他市の水準等も勘案し、改めて目的及び効果等を検証し、給付水準及び助成対象等の見直しを行うこと。

④特別会計・企業会計・出資法人等に対する支出金の抑制

特別会計・企業会計においては、一層の経営の効率化・合理化を図り、一般会計からの繰入金・負担金の圧縮を図ること。

出資法人等については、財政支援を前提とするのではなく、自立的な経営基盤を確立するよう促すこと。

記者会見資料

保健福祉部 健康増進課
(担当 福原 22-9521)

1 件名

第37回健康都市おやまフェスティバルの開催について

2 趣旨

小山市では、「健康都市おやま」の実現に向け、市民のニーズに見合う適切なサービスを総合的に展開するため、保健・医療・福祉の連携を強化し、様々な取組を実施しております。

これらの取組を市民に周知するとともに、市民の健康意識の向上及び地域の健康づくりの活動を支援することを目的に、「第37回健康都市おやまフェスティバル」を開催いたします。

3 内容

(1) 日時 10月22日(日) 9:00~15:00 (荒天中止)

(2) 会場 小山市健康医療介護総合支援センター

(3) 主なイベント

健康づくり市民公開講座

小山市民元気あっぷ体操15周年記念大体操会

(栃木ゴールデングレーブスの選手がスペシャルゲストとして参加予定)、

無料フッ素塗布(事前予約制 定員400名)

口腔がん検診(事前予約制 定員100名)

8020運動達成者表彰式 など

4 主催 小山市・健康都市おやまフェスティバル実行委員会

5 その他

当日は「新小山市民病院ふれあい祭り(会場:新小山市民病院)」及び「小山市消防フェア2023(会場:小山思いの森駐車場)」が同時に開催され、3カ所を巡るスタンプラリーを実施いたします。

6 問合せ先

健康増進課 健康増進係

電話 0285-22-9526

※別紙資料あり

第37回 健康都市おやま フェスティバル

新小山市民病院ふれあい祭り ・ 消防フェア 同時開催！！

9:45~14:30

10:00~12:00

日時

令和
5年

10月22日



午前9:00から

午後3:00まで

会場

小山市健康医療介護総合支援センター

(健康の森さくら)小山市神鳥谷 2251-7

健康のためのイベントが盛りだくさんです

この機会にご家族そろって楽しみながら

「健康づくり」について考えてみませんか

小山市民
元気あつぷ
体操15周年
記念大体操会

★★SP GUEST★★
栃木ゴールデンブレイブスの
選手が参加！！

開運小山
健康マイレージ
対象事業



健康づくりの

マスコットキャラクターPちゃん

●要事前予約●

口腔がん検診 ・ 無料フッ素塗布



駐車場には限りがありますのでなるべく
公共交通機関でお越しください

●当日参加OK！！●

市民公開講座・キッズフェスティバル・まちの保健室・お薬相談・
歯科相談・健康度測定・骨密度測定コーナー・食生活改善コーナー・
その他各種相談、展示など

入場無料 ※荒天中止

後援：朝日新聞宇都宮総局・産経新聞社宇都宮支局・東京新聞・毎日新聞宇都宮支局・読売新聞宇都宮支局

(株)下野新聞社・NHK 宇都宮放送局・(株)エフエム栃木・(株)栃木放送・(株)とちぎテレビ・テレビ小山放送(株)・FM おーらじ(順不同)

主催：小山市・健康都市おやまフェスティバル実行委員会

問い合わせ先：小山市役所健康増進課 TEL:0285-22-9526

記者会見資料

教育委員会 博物館
(担当 野口 45-5331)

1 件名

小山市立博物館 開館40周年記念 第79回企画展
「MEMORY×MUSEUM -その記憶、どう残す?-」の開催について

2 趣旨

昭和58(1983)年に開館した小山市立博物館は今年で開館40周年を迎えました。これを記念して本企画展では、当館の40年の歩みを振り返るとともに、記憶を残すという営みに注目します。小山の先人たちは大切な記憶を、物や文字、絵、音、映像、民話や芸能など、様々な形で今に残しています。今回は、当館が40年にわたり収集・保存してきた資料から、記念品や日記、一昔前の情報メディア機器など、先人たちの記憶に係る様々な資料をご覧ください。

また、当館をはじめ小山市内の諸機関が、先人たちの残した資料や文化財を保存・継承するために取り組んでいる活動についてもパネル展示でご紹介します。

3 内容

- (1) 会場 小山市立博物館 企画展示室
- (2) 開催期間 10月28日(土)～12月10日(日)
- (3) 開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- (4) 休館日 月曜日、11月22日(水)、11月24日(金)
- (5) 入館料 無料

4 関連イベント

- (1) オープニングセレモニー
日時：10月28日(土) 9:15～10:00
- (2) 記念講演会「記憶をつなぐ、文化を育てるーいま、なぜ博物館なのかー」
講師：内山大介氏(淑徳大学教授)
日時：11月25日(土) 13:30～15:00

※その他のイベントは企画展チラシ及び博物館ホームページをご参照ください。

5 問合せ先

博物館 業務係
電話 0285-45-5331

※別紙資料あり



SPレコード 業ち取「草津(づし)」



ペナント



カセットテープ



DVD

小山市公民館新築工事後式

小山市公民館上棟式用金づち



フロッピーディスク



iPod shuffle



東北線工事絵馬(安房神社蔵)



35mmモノクロネガフィルム



VHSテープ



紙焼き写真

オープンリールテープ



小さな自慢が山ほどあります

開館40周年記念

第79回企画展

MEMORY MUSEUM

— その記憶、どう残す? —

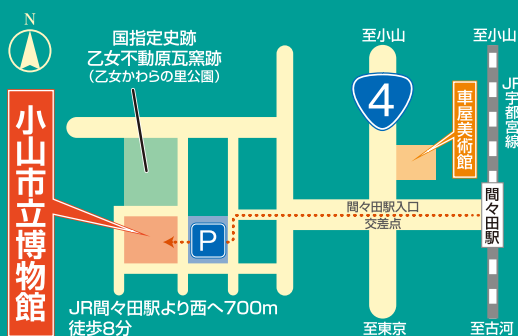
How do you preserve the memory?

2023

10.28 [土] ▶ 12.10 [日]



萬延日記(吉光寺日記)



[開館時間] 9:00~17:00 (最終入館は16:30)

[入館料] 無料 [休館日] 月曜日、第4金曜日、11月22日(水)

小山市立博物館

OYAMA CITY MUSEUM

〒329-0214 栃木県小山市乙女 1-31-7
TEL: 0285-45-5331 FAX: 0285-45-5247
<https://www.city.oyama.tochigi.jp/site/hakubutu/>



小山市立車屋美術館 展示情報

アートリンクとちぎ2023 栃木県立美術館収蔵品展
生誕130周年 古川龍生木版画展
— 人物モチーフと街景・海浜風景 —
2023.10.28 (土) ~ 12.10 (日)

MEMORY X MUSEUM

— その記憶、どう残す? —



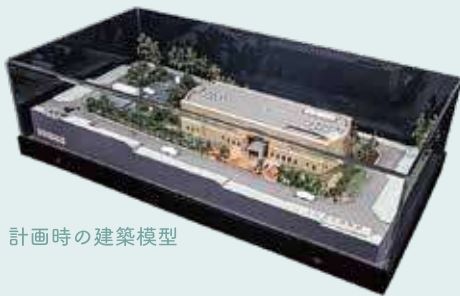
開館記念式典の様子

昭和58年(1983)3月13日、生活様式の変化によって失われつつある郷土の資料を守り、小山市の歴史と文化を後世へ伝えるため、本市に博物館が誕生しました。そして今年、おかげさまで当館は開館40周年を迎えることができました。

この節目となる年に、「過去の記憶を残し、未来に受け継ぐ」という博物館本来の使命に立ち返り、「記憶」と「博物館」の関係を考える展示を開催いたします。

本展では、当館に残された先人達の記憶を、「物」「文字」「絵」「音」「映像」「ことばと身体」という6つのジャンルに分けてご紹介します。また、博物館資料や文化財を未来に受け継ぐために、当館や市内の諸施設が行なっている活動をパネル展示いたします。

当館の40年の歩みを振り返りながら、今回の「記憶をかける展覧会」をお楽しみいただけたら幸いです。



計画時の建築模型

関連イベント

- ・ **オープニングセレモニー**
日 時：10月28日(土) 9:15～10:00
- ・ **記念講演会**
「記憶をつなぐ、文化を育てる
— いま、なぜ博物館なのか —」(仮)
日 時：11月25日(土) 13:30～15:00
講 師：内山 大介氏(淑徳大学教授)
申 込：10月1日(日)から電話受付(先着40名程度)
- ・ **学芸員による展示解説**
日 時：①11月19日(日)、②12月10日(日) 10:30～11:00
- ・ **キッズツアー**
「思い出の残し方を学ぼう」
日 時：11月3日(金・祝) 10:30～11:00
- ・ **おやまミュージアムバスツアー**
日 時：12月3日(日) 9:00～16:00
参加料：無料
行 先：小山市役所(集合)・おやま縄文まつりの広場・
車屋美術館・市立博物館・
国史跡 摩利支天塚・琵琶塚古墳資料館
申 込：11月26日(日)までに電話受付(先着40名)

開館40周年記念 博物館友の会&ボランティア コラボイベント

- ・ **博物館ボランティアと古代寒川郡を歩く I**
日 時：10月29日(日) 9:15～11:30
行 先：市立博物館(集合)・乙女河岸・網戸神社ほか
申 込：10月1日(日)から電話受付(先着10名程度)
- ・ **博物館ボランティアを古代寒川郡を歩く II**
日 時：11月12日(日) 9:15～12:00
行 先：市立博物館(集合)・北浦遺跡・安房神社ほか
参加料：200円(復路バス代)
申 込：10月1日(日)から電話受付(先着10名程度)
- ・ **くずし字を読んでみよう**
日 時：11月11日(土) 14:00～15:00
対 象：高校生以上
申 込：10月1日(日)から電話受付(先着20名程度)
- ・ **甲冑を着てみよう**
日 時：①11月12日(日)、②11月19日(日) 13:30～15:30
対 象：身長110cm～175cmの方
申 込：当日先着10名程度
- ・ **博物館の遺物を拓本に!**
日 時：11月18日(土) 10:00～12:00
対 象：小学4年生以上
申 込：10月1日(日)から電話受付(先着10名)
- ・ **民話の語りを聞こう～波乱なる一族・小山氏の伝説～**
日 時：11月19日(日) 13:30～15:30
申 込：不要(定員40名程度)
- ・ **来年の干支印「辰」を刻ってみよう**
日 時：11月23日(木・祝) 10:00～12:00
参加料：300円 対 象：小学6年生以上
申 込：11月8日(水)までに電話受付(先着15名)
- ・ **小字から学ぶ地名由来と郷土の歴史**
日 時：11月25日(土) 10:30～11:15
申 込：不要(定員40名程度)
- ・ **大人のための土器づくりワークショップ**
日 時：11月26日(日) 12:30～16:00
参加料：600円 対 象：一般
申 込：10月1日(日)から電話受付(先着16名)

記者会見資料

教育委員会 車屋美術館
(担当 中野 41-0968)

1 件名

第58回企画展 アートリンクとちぎ2023 栃木県立美術館収蔵品展
「生誕130年古川 龍^{ふるかわりゅうせい} 生木版画展—人物モチーフと街景・海浜風景」について

2 趣旨

小山市羽川出身の版画家・古川龍生(1893-1968)の生誕130年を記念して、作品のほとんどを収蔵する栃木県立美術館より選りすぐりの木版画40点とスケッチ帖等を展示します。なかでも10代から描いていた人物モチーフ、入り組んだ直線を用いて都会の建物や人物を表現した街景シリーズ、また躍動する曲線を用いて海水浴場の喧噪を表現した海浜風景シリーズを中心にご紹介します。

古川の特長である繊細な色彩表現の豊かさ、木版画表現へのあくなき探究をご覧ください。

3 内容

- (1) 会場 車屋美術館 企画展示室
- (2) 開催期間 10月28日(土)～12月10日(日)
- (3) 開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- (4) 休館日 月曜日、11月24日(金)
- (5) 入館料 一般 400 (団体300) 円
大学・高校生250 (団体150) 円
中学生・義務教育学校生以下無料
- (6) 無料公開日 11月3日(金)、11月23日(木)

4 関連イベント

- (1) ギャラリートーク
講師：大城 菜里恵氏 (栃木県立美術館研究員)
日時：11月4日(土) 14:00～(45分程度)
- (2) 作品鑑賞会 (当館学芸員がご案内します)
日時：11月19日(日)、12月3日(日)
いずれも14:00～(30分程度)

5 その他

国登録有形文化財「小川家住宅」も併せて公開しております。

6 問合せ先

車屋美術館
電話 0285-41-0968

※別紙資料あり

アートリンクとちぎ2023
栃木県立美術館収蔵品展

生誕130年

130th Anniversary of the Birth FURUKAWA RYUSEI

古川龍生 木版画展

—人物モチーフと街景・海浜風景

2023年 10月28日(土) — 12月10日(日) 開館時間 | 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 | 毎週月曜日、11月24日(金)

入館料 | 一般 400(団体300)円、大高生 250(団体150)円、小・中学生、義務教育学校生以下は無料

※団体は20名以上 ※障がい者手帳をお持ちの方と付添一名無料

※おやまミュージアム割引 小山市立博物館企画展の半券(2023年4月以降の日付印があるもの。年度内、1回限り有効)ご提示で一般100円、大高生50円を割引(ほかの割引との併用不可)

無料公開 | 11月3日(金・祝)文化の日、11月23日(木・祝)勤労感謝の日

主催 | 小山市立車屋美術館、栃木県立美術館

後援 | 朝日新聞宇都宮総局、NHK宇都宮放送局、FMおーラジオ、(株)エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、
テレビ小山放送、東京新聞宇都宮支局、(株)とちぎテレビ、(株)栃木放送、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局



小山市立車屋美術館

〒329-0214 栃木県小山市乙女3-10-34 Tel 0285-41-0968
<https://www.city.oyama.tochigi.jp/kurumayamuseum/>



古川龍生 左上 四季少女図(冬)、右上 四季少女図(秋)、左下 四季少女図(夏)、右下 四季少女図(春) 1936年(栃木県立美術館蔵)





《楽しい日曜日》1958年 栃木県立美術館蔵

現在の栃木県小山市羽川に生まれた古川龍生(本名 龍夫、1893-1968)は、栃木県立宇都宮中学校、逗子開成中学校に学び、この頃から独学で版画制作をはじめました。25歳の時東京美術学校日本画科予科に入学、卒業後は木版画の制作に没頭し、日本創作版画協会展や春陽会展での入選を続けます。ところが43歳の頃、病氣療養のため作品制作を中断、さらに戦争激化にともない1944年に故郷羽川へ疎開してからは、農業会会長を務めるなど地元の農業振興に尽力する日々を送ります。戦後は1951年58歳の時に版画制作を再開し、75歳で亡くなるまでたゆまずに創作を続けました。

本展覧会では古川の生誕130年にあたって、作品のほとんどを収蔵する栃木県立美術館所蔵品より木版画40点とスケッチブック等を展示いたします。なかでも10代から描いていた人物モチーフ、入り組んだ直線やアルファベットのような形を用いて都会の建物や人物を表現した街景のシリーズ、また躍動する曲線を用いて海水浴場の喧噪を表現した海浜風景シリーズを中心にご紹介します。古川の特長である繊細な色彩表現の豊かさ、木版画表現へのあくなき探究をご覧ください。



《夏の砂浜》1966年 栃木県立美術館蔵



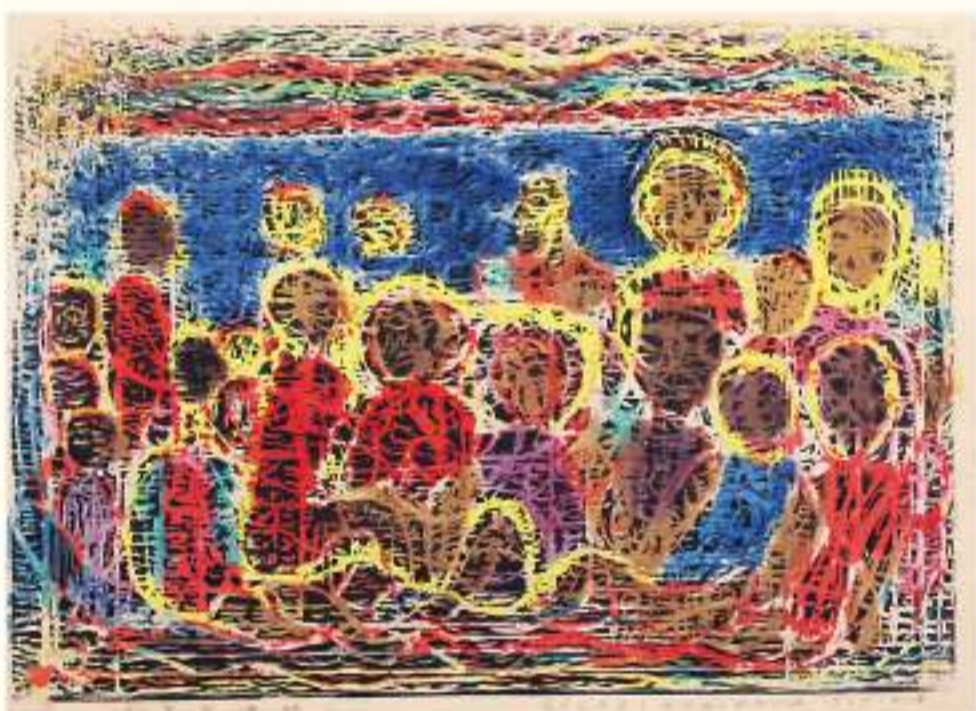
《街B》1962年 栃木県立美術館蔵



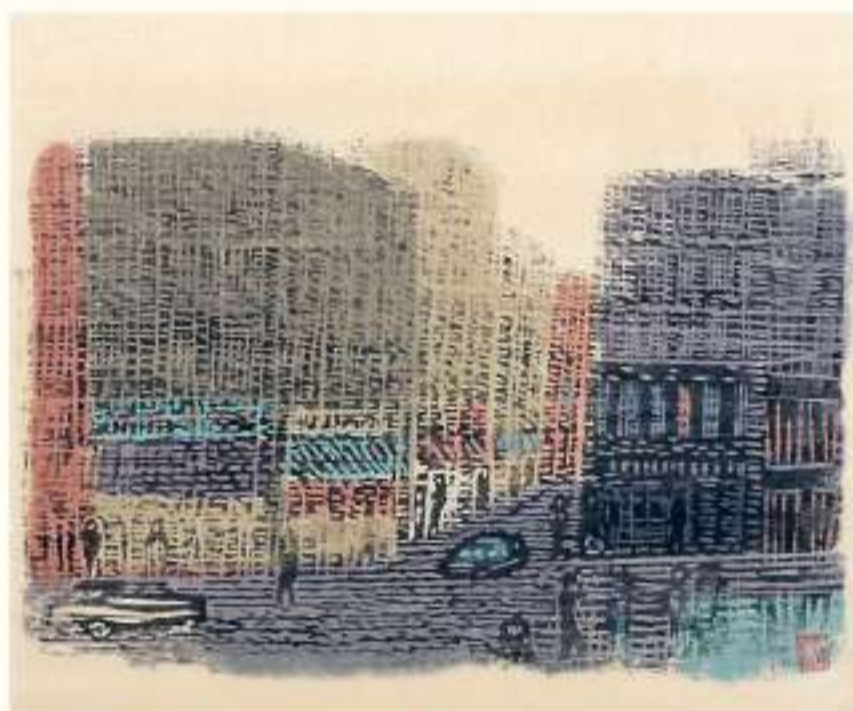
《美人四季(秋)》1932年 栃木県立美術館蔵



《少年》1958年 栃木県立美術館蔵



《真夏の海辺》1967年 栃木県立美術館蔵



《街C》1959年 栃木県立美術館蔵



《訪客図》1927年 栃木県立美術館蔵

関連イベント

① ギャラリートーク

講師：大城 茉里恵氏
(栃木県立美術館研究員)

日時：11月4日(土) 午後2時～(45分程度)

会場：企画展示室 ※要当日観覧券。申込不要

② 作品鑑賞会

当館学芸員がご案内します

日時：11月19日(日)、12月3日(日) 午後2時～(30分程度)

会場：企画展示室 ※要当日観覧券。申込不要

各イベントは中止となる場合があります。
詳細についてはお問合せください。

栃木県立美術館のご案内

栃木県誕生150年記念 下野新聞創刊145周年記念
「文晁と北斎 — このふたり、ただものにあらず」
10月21日(土)～12月24日(日)
宇都宮市桜4-2-7 Tel 028-621-3566

小山市立博物館のご案内

開館40周年記念 第79回企画展
「MEMORY×MUSEUM — その記憶、どう残す? —」
10月28日(土)～12月10日(日)
小山市乙女1-31-7 Tel 0285-45-5331 車屋美術館から徒歩7分



小山市立車屋美術館

〒329-0214 栃木県小山市乙女3-10-34 Tel 0285-41-0968
<https://www.city.oyama.tochigi.jp/kurumayamuseum/>



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



小さな自慢が山ほどあります

アクセス

○電車

JR宇都宮線「間々田駅」西口より徒歩5分 間々田駅入口交差点を右折、国道4号沿い(間々田駅までは、上野駅からJR東北本線で70分 新宿駅からJR湘南新宿ラインで72分)

○自動車

- ・東北自動車道佐野藤岡ICより国道50号線経由→ 国道4号線を東京方面へ、約26km
- ・首都圏中央道連絡自動車道五霞ICより新4号線経由→ 国道4号線を宇都宮方面へ、約24km
- ・小山駅より約8km



記者会見資料

教育委員会 生涯スポーツ課
(担当 落合 21-2695)

1 件名

おやま春（スプリング）マラソン2024の開催について

2 趣旨

小山市では、これまで実施していた「おやま思川ざくらマラソン大会（4月）」及び「おやま思川マラソン大会（12月）」の2つの大会を改め、新たに、生涯スポーツの振興及び健康の増進を図るため、幅広い年齢層を対象とした「おやま春（スプリング）マラソン」を開催いたします。

3 内容

- (1) 日時 令和6年3月3日（日） 小雨決行
開会式：8：00～ スタート：8：50～
- (2) 会場 小山総合公園（メイン会場）～思川土手～間々田地区
- (3) ゲストランナー
スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学教授 増田明美 氏
- (4) 種目 ハーフコース・5kmコース・2kmコース
親子マラソン（小学1～2年生）2kmコース

4 主催 おやま春マラソン実行委員会

5 参加者の募集について

- (1) 募集期間 10月23日（月）～令和6年1月8日（月）
- (2) 申込方法 インターネット申込み
スポーツエントリー・RUNNET（ランネット）
- (3) 参加料
ハーフコース 4,000円
5kmコース・親子マラソン 3,000円
2kmコース 2,000円

6 問合せ先

生涯スポーツ課 スポーツ振興係
電話 0285-21-2695

※別紙資料あり



MARATHON
GRAND SPRING



小さな自慢が山ほどあります



ゲストランナー
増田明美さん



スポーツジャーナリスト
大阪芸術大学教授

1964年、千葉県いすみ市生まれ。成田高校在学中、長距離種目で次々に日本記録を樹立する。1984年のロス五輪に出場。92年に引退するまでの13年間に日本最高記録12回、世界最高記録2回更新という記録を残す。マラソン、駅伝の解説が好評で、2017年にはNHK朝の連続テレビ小説「ひよっこ」の語りを担当。現在、テレビ番組のナレーションやニュース番組のコメントーターも務める。日本パラ陸上競技連盟会長、東京陸上競技協会会長、日本パラスポーツ協会理事。

小山市スポーツ都市宣言10周年記念 OYAMA SPRING MARATHON 2024

2024.3.3 (Sun) OPEN: 8:00
START: 8:50

スプリング

おやま春マラソン2024

March 03, 2024 | 8:00 am Opening Ceremony | 8:50 am Starts

エントリー期間 2023年 10月23日(月) ~ 2024年 1月8日(月)

- 主催** おやま春マラソン実行委員会
- 協力** 白鷲大学 株式会社ロックスパーク 小山市スポーツ推進委員協議会 小山市交通指導員連絡協議会 NSO3DEVICE BABY STAR ENTERTAINMENT 栃木県eスポーツ連合
- 後援** 下野新聞社小山総局 朝日新聞宇都宮総局 読売新聞宇都宮支局 毎日新聞宇都宮支局 東京新聞宇都宮支局 NHK宇都宮放送局 (株)とちぎテレビ テレビ小山放送 FMオーラジ (株)エフエム栃木 (株)栃木放送

OFFICIAL
WEBSITE



おやま春スプリング
マラソン2024

COURSE MAP
コースマップ



MARATHON
GRAND SPRING



おやま春マラソン2024コース

スプリング

おやま春マラソン2024

おやま春マラソン大会実行委員会事務局
小山市生涯スポーツ課
(公財)小山市スポーツ協会

0285-21-2695
(平日8:30~17:15)

d-taiku@city.oyama.tochigi.jp
〒323-0042 栃木県小山市外城371-1

アクセス

JR宇都宮線小山駅より
徒歩40分または、
シャトルバスで15分

駐車場1,200台
(参加者のみ事前にお申込みいただけます)



おやま春マラソン2024

思川沿いのさわやかな風を感じながら、小山市の歴史的名所を巡り田園環境都市おやまの魅力をご堪能ください！

日程 2024年3月3日(日) **雨天決行**

会場 小山総合公園 栃木県小山市外城371-1

時間
AM 6:30: 会場オープン
AM 8:00: 開会
AM 8:50: スタート (*コースごとにスタート時間が異なります。)

制限時間
ハーフマラソン
約11.7km: 10時30分
約14.7km: 11時00分
フィニッシュ: 12時00分



参加賞



厚手コットンミニサコッシュ

募集期間 2023年10月23日(月) ~ 2024年1月8日(月)

インターネットにて受付致します。

- エントリー方法**
- 1) 所属
 - 2) 駐車場要・不要
 - 3) ハーフマラソンの申告タイム
 - 4) 氏名・カナ・性別・生年月日
 - 5) メールアドレス
 - 6) 緊急連絡先

※お申込み人数に達した時点で応募締め切りとさせていただきます。
※お申し込み後の参加料は返金しません(中止の場合は参加賞を送付します)。



インターネット



おやま春マラソン公式ホームページ

<https://oyama-springmarathon.com>

ENTRY



その他

- ・物品の紛失その他の事故については一切責任を負いません。
- ・大会当日は、健康保険証又はその写しを持参してください。
- ・当日、荷物預かり所を設けますが、貴重品は各自で管理してください。
- ・荒天時の実施可否については大会HPにて告知いたします。
- ・会場駐車場の利用には事前に送付される駐車券の提示が必要になります。駐車券の発送はエントリー時に駐車場を希望する方に送付いたしますが、申込多数の場合には遠来者より順に送付いたします。

種目及び参加資格

#3

種目	スタート時間	クラス	区分	募集数	参加料
ハーフ	8時50分	1	一般男子高校生~39歳	1500名	4,000円
		2	一般男子 40歳~49歳		
		3	一般男子 50歳~59歳		
		4	一般男子 60歳 以上		
		5	一般女子高校生~39歳		
		6	一般女子40歳 以上		
2Km	9時00分	7	中学生女子	100名	2,000円
		8	小学生男子5~6年生	100名	2,000円
		9	小学生女子5~6年生	100名	2,000円
	9時05分	10	小学生男子3~4年生	100名	2,000円
		11	小学生女子3~4年生	100名	2,000円
		12	親子(小学1~2年生)	100組	3,000円
5Km	9時15分	13	中学生男子	500名	3,000円
		14	高校生男子		
		15	高校生女子		
		16	一般男子18歳~39歳		
		17	一般男子40歳以上		
		18	一般女子18歳~39歳		
		19	一般女子40歳以上		

申込規約

大会申込に際して、参加申込者は下記事項に同意のうえ、お申込みください。お申込みをいただいた場合には、以下の事項を了承し、遵守することを誓約いただいたものとします。

- ① 主催者は、疾病や紛失その他の事故に際し、応急処置を除いて一切の責任を負いません。
- ② 自己の都合による申込後の種目変更、記載内容の変更、修正、キャンセルはできません。
- ③ 虚偽申請、本人以外の出場(不正出場)は認めません。その場合出場が取り消されます。
- ④ 上記③の場合や、大会に参加できなかった場合であっても、参加料は返金いたしません。
- ⑤ 地震・風水害・降雪・事件・事故・感染症の流行等による開催縮小・中止、参加料返金の有無・額、通知方法等については、その都度主催者が判断し、決定します。
- ⑥ 大会の映像・写真等(氏名・年齢・性別・記録・肖像等の個人情報)が新聞・テレビ・インターネットなどに報道・掲載・利用されることがあります。その掲載権・使用权は主催者に属します。
- ⑦ 主催者及び業務委託先は、個人情報の保護法令を遵守し、参加者の個人情報を取り扱います。また、疾病や事故に関して保健所・医療機関等第三者へ情報を提供する事があります。
- ⑧ 大会参加にあたっては、十分にトレーニングを行い、事前に健康診断を受診するなど、体調には万全の配慮をしたうえで参加してください。なお、当日、体調がすぐれない場合は出場を控えてください。また、競技途中で体調に異変を感じた場合は、競技を中止し、近くのスタッフへお声がけください。
- ⑨ 参加者は万一の事故等に備え、必ず保険証を持参してください。
- ⑩ 申込内容に不備がある場合は受付できません。
- ⑪ 公共交通機関、道路事情等による遅刻について、主催者は一切責任を負いません。
- ⑫ 広告目的で会場・コースに企業名・商品名などを意味する図案及び商標等を表示したり身に付けていたりすることはできません。また、政治的スローガンや公序良俗に反するような文言等を表示したウェア・かぶりもの等を着用して参加することはできません。なお、主催者側で不適切と判断した場合は、参加を認めない場合があります。
- ⑬ 本大会要項の定めに厳格に従い、ランナーとしてのマナーを遵守してください。
- ⑭ 大会中は、各コース上の警察官及び警備員、競技役員からの指示に従い競技を行ってください。大会中、事故や火災など緊急事態が発生した場合には、コース上、どこでも緊急車両等が通行する可能性があります。その際は競技を一時、停止させる場合があります。
- ⑮ 空撮用に限らず、ドローン等の無人飛行機を大会会場、コース等の上空を飛行させることはできません。
- ⑯ 上記のほか、大会に関する事項については主催者の指示に従ってください。

記者会見資料

教育委員会 中央図書館
(担当 江藤 21-0753)

1 件名

第8回中央図書館まつりの開催について

2 趣旨

中央図書館で活動する「小山市立図書館関係団体連絡協議会」「小山子どもの本連絡会」「中央図書館ボランティア連絡会」の3団体と、中央図書館が連携し、活動内容を広く図書館利用者に周知するため、『第8回中央図書館まつり』を開催します。

3 内容

(1) 日時 11月5日(日) 9:30~16:00

(2) 会場 小山市立中央図書館

(3) 主なイベント

①講演会 「デジタルメディアと子どもの育ち」

講師：伊藤理恵氏（スマホ依存防止アドバイザー）

時間：13:30~15:00

会場：2階 視聴覚ホール（定員：80名・申込不要）

②本の森ガイドツアー（普段は入れない地下書庫や管理棟を館長が案内）

時間：14:00~15:00

定員：10名程度

申込：先着順 当日9:00~1階中央サービスデスクで整理券配布

③図書のリサイクル市

図書館で不要になった図書や雑誌を無料配布 一人10冊まで

時間：10:00~12:00、13:00~15:00

会場：2階 第2集会室

④展示 おすすめ絵本の展示（小山子どもの本連絡会）

仲間たちのあゆみ展（図書館を拠点に活動する団体の紹介）

4 主催

第8回中央図書館まつり実行委員会・小山市立中央図書館

5 問合せ先

中央図書館 総務係

電話 0285-21-0750

※別紙資料あり

令和
5年度

第8回 中央図書館まつり

11月5日(日) 午前9時30分～午後4時

仲間たちのあゆみ展

図書館を拠点に活動する団体を
紹介する展示を行います。

- 日程: 11月5日(日)～
11月14日(火)午後3時
- 会場: 1階 開架室
新着図書コーナー 付近

おすすめ絵本の展示

「小山子どもの本連絡会」による
おすすめ絵本の展示をします。
また、ご希望に応じて読み聞かせも
行います。

- 時間: 午前9時45分～午後4時
- 会場: 1階 児童開架室
おはなしコーナー

本の森ガイドツアー

普段は入れない地下書庫や管理棟等
を館長がご案内します。

- 時間: 午後2時～午後3時
- 定員: 10名程度
- 申込み: 当日午前9時より
1階中央サービスデスクにて
整理券配布(先着順)

図書のリサイクル市

図書館で不要になった図書・雑誌を
無料でお譲りします。
持ち帰り用の袋をお持ちください。

※無くなり次第、終了します。
※おひとり様10冊までとなります。

- 時間: 午前の部 午前10時～午前12時
午後の部 午後1時～午後3時
- 会場: 2階 第2集会室

開会式 ●時間: 午前9時30分～

パネルシアター ●時間 午前10時15分～午前10時45分
【おはなし水曜会】

栃木の昔ばなし ●時間: 午前11時～午前12時
【栃木 語り部の会】

※全て事前申込み不要。直接会場へお越しください。定員80名

講演会

『デジタルメディアと子どもの育ち』

- 時間: 午後1時30分～午後3時
- 講師: 伊藤理恵氏(スマホ依存防止アドバイザー・
おはなしボランティア養成講座修了生の会所属)

会場: 2階 視聴覚ホール

ブックコーティング 体験

ご自分の本を図書館の本のように
してみませんか？

- 時間：午前10時30分～午前11時30分
- 会場：2階 第1集会室
- 対象：小学生以上（はさみ・定規を一人で使うことができる方）
- 定員：10名
- 申込み：10月24日（火）午前9時より
1階中央サービスデスクにて直接または
電話にて申込み（先着順）

こんにちは、 移動図書館です

移動図書館の展示及び車内外の
見学を行います。

- 時間：午前9時30分～午後4時
- 会場：第一駐車場

中央図書館のあゆみ展

中央図書館開館から
30年の歴史を紹介します。

- 時間：午前10時～午後3時
- 会場：2階 第2集会室

絵画をめぐる ウォークラリー

中央図書館内に掲示されてい
る絵画等を探しながらキーワ
ードを集めましょう。

- 日程：10月27日（金）
～11月9日（木）
（読書週間期間中実施）

当日は、軽食等の
販売も行います！
どうぞお楽しみに！

参加団体

- 小山市立図書館関係団体連絡協議会
- 小山子どもの本連絡会
- 中央図書館ボランティア連絡会

私のペースで しおりは進む

2023・第77回 読書週間
10/27～11/9



主催：中央図書館まつり実行委員会・小山市立中央図書館
会場：小山市立中央図書館（小山市城東1-19-40）

申込み・問い合わせ：0285-21-0750

記者会見資料

消防本部 消防署
(担当 野本 39-6662)

1 件名

小山市消防フェア2023の開催について

2 趣旨

市消防本部では、「地域に密着し市民に愛される消防」をコンセプトに、市民とのふれあいにより消防をより身近で親しみやすく感じていただくとともに、火災予防意識の高揚、応急手当の普及啓発及び救急車の適正利用に対する理解を促し、“安全・安心なまちづくり”に寄与することを目的に、小山市消防フェア2023を開催いたします。

3 内容

(1) 日時 10月22日(日) 10:00~12:00 (雨天、災害発生時は中止)

(2) 会場 小山思いの森駐車場

(3) 主なイベント

応急手当体験(訓練用人形やAEDを用いた心肺蘇生法の体験)

放水体験

はしご車バスケット搭乗体験

119番通報体験(訓練用通報装置を用いた疑似通報体験)

防火衣着装体験(子供用防火衣を着装しての写真撮影)

ドローン機体展示(小山市消防本部保有のドローン2機を展示)

車両展示(消防車、救急車、消防バイクの展示)

防火紙芝居(子供向けの火災予防紙芝居)

救助訓練展示(救助隊による交通救助訓練展示) など

4 その他

(1) 雨天、災害等により中止の場合は、当日朝6時に市HP、X(旧ツイッター)に掲載します。ただし、雨天による中止の場合は、応急手当体験及び119番通報体験のみ、新小山市市民病院ふれあい祭りの会場にて実施します。

(2) 当日は「新小山市市民病院ふれあい祭り」及び「健康都市小山フェスティバル」が同時に開催され、3カ所を巡るスタンプラリーを実施いたします。

5 問合せ先

消防署 消防係

電話 0285-39-6664